

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 放課後子供教室の取組事例

「たかた子どもキャンパス」(岩手県陸前高田市)

取組の概要や経緯

【放課後子供教室事業】

週末等に、子どもたちが学習活動や文化体験活動、地域住民等との交流活動などに取り組む機会を提供することで、子どもの健全な成長と地域ぐるみで子育てに取り組む環境づくりを進め、コミュニティの再生に寄与することを目的とする。

スポーツ少年団活動が盛んである実情を踏まえ、平成27年度から市内全小学生を対象として実施している。

内容

基本事項: 原則として土曜日(月2回程度)の開催。午前9時から受付を開始し、9時30分に活動を開始するまでは、宿題等の自主学習に取り組む。活動時間は2時間程度。

活動内容: 地域の協力者の指導により、スポーツなどの体作りに関するものや、田植えや稲刈りなどの体験活動、英語や防災、地域の自然発見など学習活動を実施。



ネイチャークラフト



田植体験



ニュースポーツ

ポイント

- ①教育活動推進員(キャンパス先生)や、教育活動サポーターとして、地域住民が子どもたちの指導や見守りなどを担い、地域人材の活躍の場でもあり、子どもたちにとって身近な大人が関わることで、安心して安全な活動の場となっている。
- ②学校や家庭とは違う学習や体験の場として実施している。

成果

保護者から見ても、子どもたちにとって新しい発見があったり、できる事が増えたと感じる活動に繋げることができた。

また、協力者についても、約8割が満足と感じた結果となった。

平成28年度の実績

対象	市内小学校(8校)
実施回数	26回
参加児童延人数	309人
協力者延人数	190人

今後の方向性

たかた子どもキャンパスは市内全域を対象とするため、保護者の送迎ができずに参加できない児童もおり、実施地区を分けて開催することを検討している。そこで、今後は放課後児童クラブとの連携を密にし、地域の特色を活かしてより子どもたちが参加しやすい環境を整えていく。

また、キャンパス先生やサポーターの人材確保に向けて、事業の周知と理解を図る。